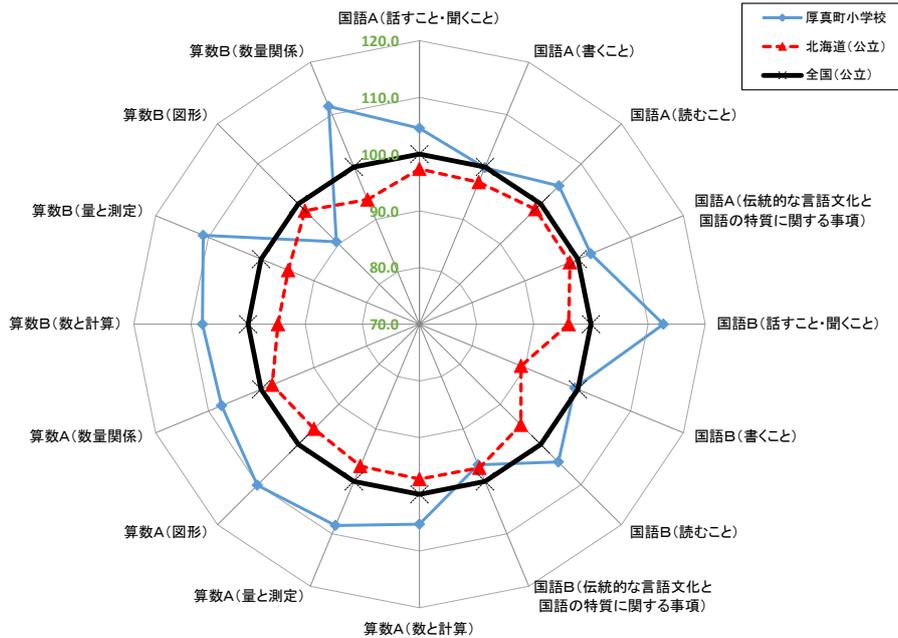


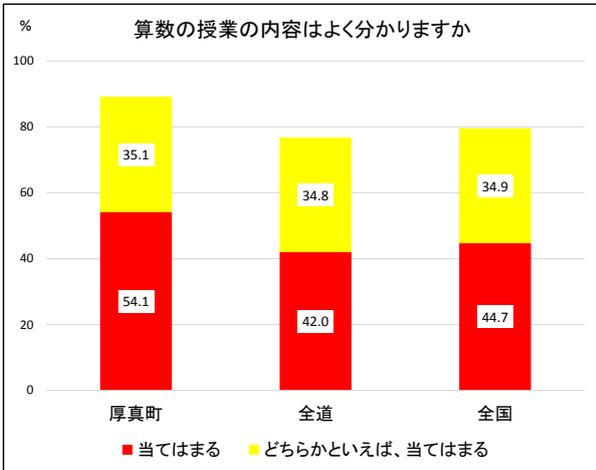
■ 厚真町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:37名)

【教科全体の状況】

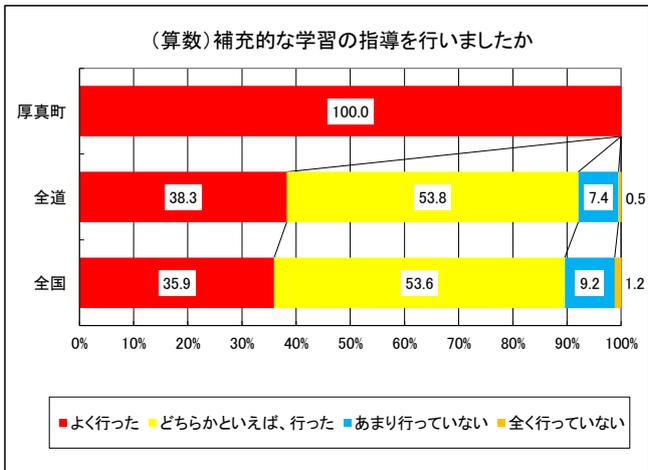
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全ての教科において、全道、全国を上回っている。 ○ 領域別では、国語B(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)、算数B(図形)を除く領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町独自の教育サポーターによる、算数を中心としたTT指導や少人数指導を実施するなど、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、放課後や長期休業中の学習会などの補充的な学習の充実を図り、児童一人一人に分かったという成就感をもたせることにより、授業の内容がよく分かるという児童が多くなり、全国平均を上回る結果になったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業の内容がよく分かったと回答した児童の割合が、全道、全国より高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補充的な学習の指導を行った学校の割合が、全道、全国よりも高い。 	

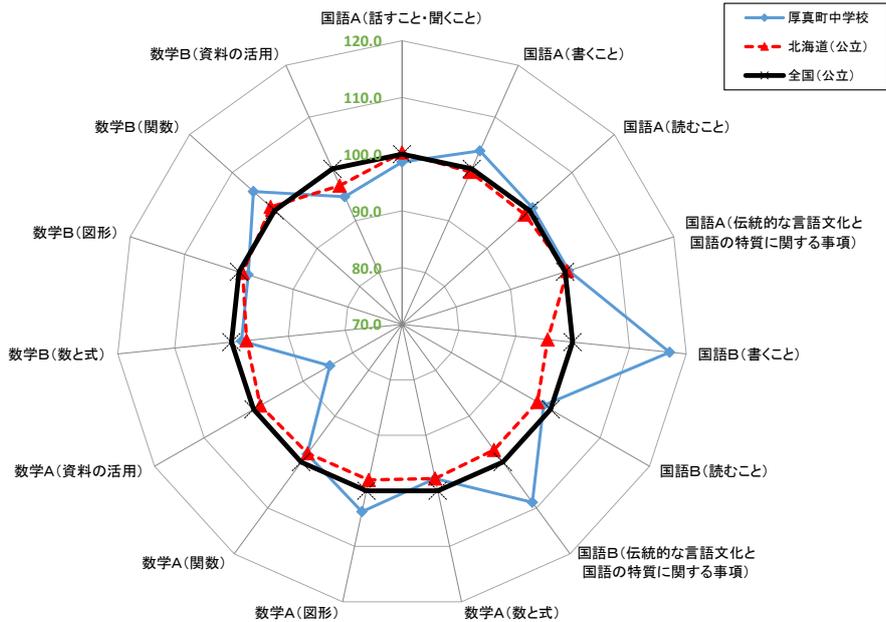
【厚真町の学力向上策】

- ◎ 町独自の事業で小学校1校へ教育サポーターを派遣(1小学校は加配教員配置)、算数を中心としたTT指導、少人数グループ指導の実施
- ◎ 各学校の校長、教頭、教務主任で構成する学力向上委員会を設置し、町内の学校の課題と取組の交流の実施
- ◎ 教師力アップ研修を通じた教師の力量向上のための講演会、ワークショップ、授業指導、先進地視察等を実施
- ◎ 長期休業中の各校の実施する学習会へのスクールバスの活用などの支援

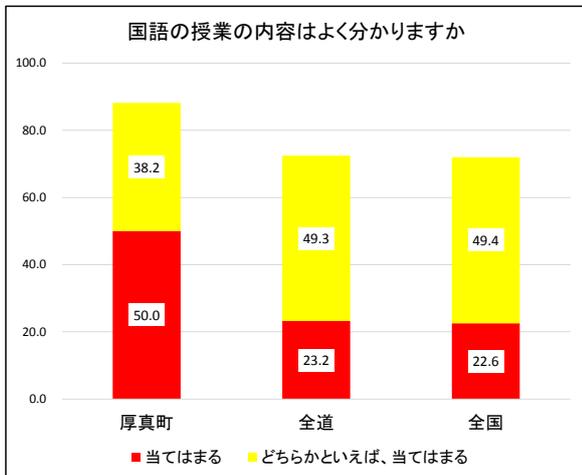
厚真町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:34名)

【教科全体の状況】

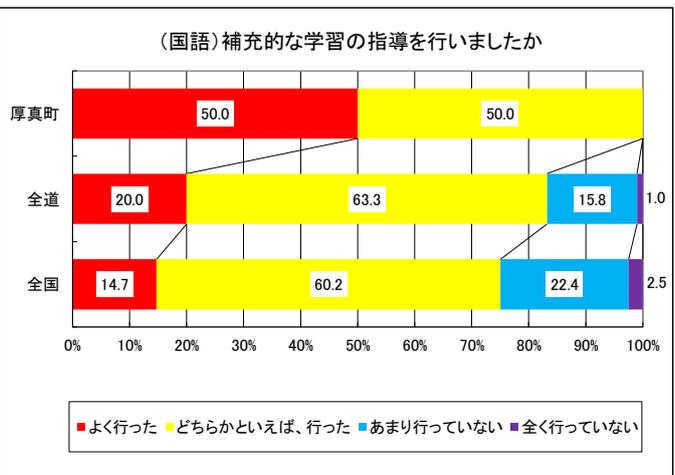
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全ての教科で、全道、全国を上回っている。 ○ 領域別では、国語A(書くこと)、国語B(書くこと)(言語文化)、数学A(図形)、数学B(関数)で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、国語の補充的な学習を充実させ、生徒一人一人に分かったという成就感をもたせる指導を心がけたことにより、国語の授業の内容がよく分かるという割合が高くなっていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業の内容がよく分かれると回答した生徒の割合が、全道、全国より高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町の学力向上委員会で町内の学校の課題を共有し、小・中学校が連携した取組を推進したことにより、全国平均を上回る結果になったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補充的な学習の指導を行った学校の割合が、全道、全国よりも高い。 	

【厚真町の学力向上策】

- ◎ 各学校の校長、教頭、教務主任で構成する学力向上委員会を設置し、町内の学校の課題と取組の交流の実施
 - ・家庭学習の推進、ノート指導、学習の手引きの作成など共通の取組を実施
 - ・地域の課題を中学校区で取り組むため、小・中学校が連携して推進(授業参観交流、小中教師の相互派遣)
- ◎ 教師力アップ研修を通じた教師の力量向上のための講演会、ワークショップ、授業指導、先進地視察等の実施